



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

ゼロカーボンへの取組み

株式会社 武蔵野銀行



サステナビリティへの取り組み

持続可能な地域社会実現に向けた具体的施策の積上げ

地元企業への働きかけ加速

1社1社の取組状況や企業規模・業種などに応じた最適なファイナンスとコンサルティングの提供

ファイナンス

中小企業のサステナビリティ実践に資する商品から大規模企業などの取組みに対応した商品まで幅広いラインナップを展開

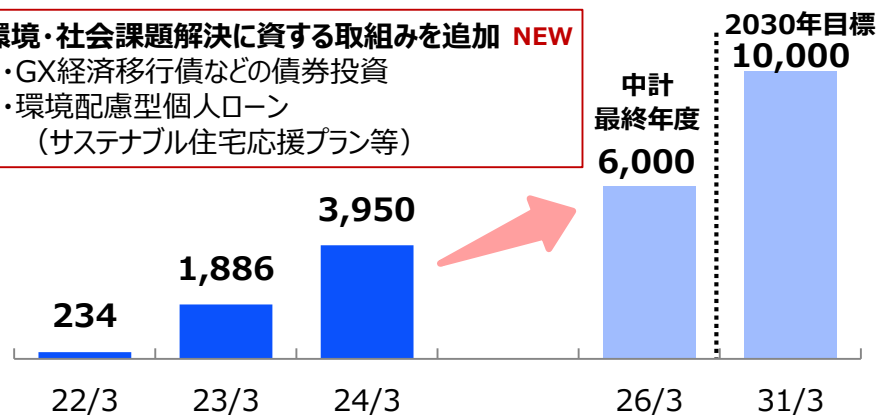
コンサルティング

SDG s 宣言の策定、サステナビリティ課題の可視化、脱炭素の実践などの様々な商品を用意

サステナブルファイナンス 累計実行額 (単位：億円)

環境・社会課題解決に資する取組みを追加 NEW

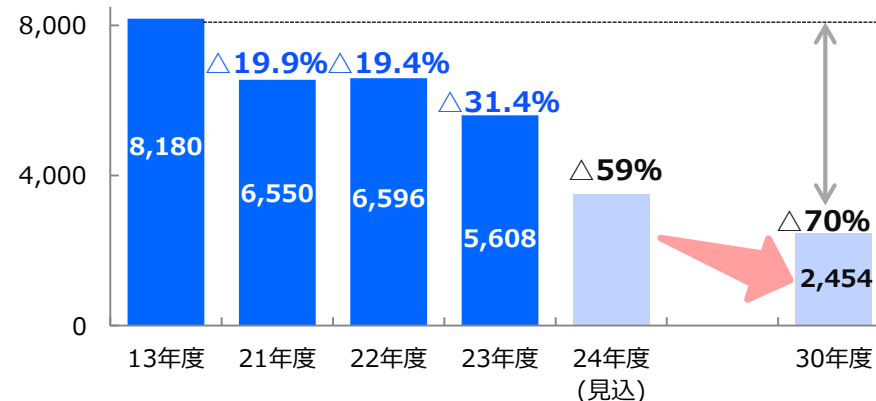
- ・GX経済移行債などの債券投資
- ・環境配慮型個人ローン (サステナブル住宅応援プラン等)



脱炭素に向けた取組み

当行グループ全体のCO2排出量の削減

温室効果ガス排出量 (単位：t)



再生可能エネルギーへの切り替え (24年5月) NEW

本店および事務センターで使用する全電力を切り替え

生物多様性への取組強化

環境NGO「埼玉県生態系保護協会」と包括提携 (24年5月)

自治体向け

・生物多様性関連の計画策定支援

企業向け

・サステナビリティ事業支援・具体策提供

地域・学校

・環境教育プログラムの提供

- S D G s 理解のための勉強会開催
- S D G s 取組み診断によるお客様の取組状況の整理
- 優先課題の抽出と目標・K P I（重要業績評価指標）の設定等
- むさしのS D G s 宣言書の発行
- 对外情報発信（当行ホームページへの掲載）
- 顧客の要望に応じて「さいたま市S D G s 企業認証制度」取得も支援

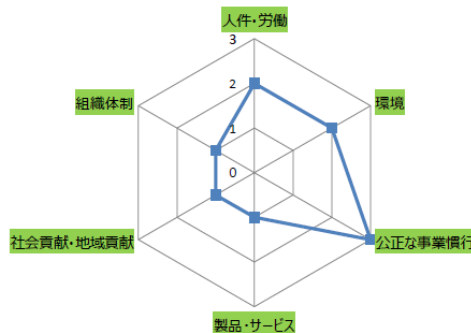
株式会社 ○○ 御中

SDGs 診断結果 レポート

■チェックリストを基に、貴社の「SDGs対応度」を簡易診断致しましたのでご報告致します
項目別評価

人権・労働	評価結果
	B
環境	評価結果
	B
公正な事業慣行	評価結果
	A
製品・サービス	評価結果
	C
社会貢献・地域貢献	評価結果
	C
組織体制	評価結果
	C

SDGsチャート



診断結果

貴社のSDGs対応度は	C	です。
コメント	・各項目の平均得点は低いです。 日頃取り組む業務の中でできる取組を実践しつつ、徐々にSDGsに関連する社内ルールの制定や、教育・研修の拡充、取組みの実施を行うことで、企業の信用・評価アップにつながります。 ・項目によって若干の得点差が見られます。バランスのよい底上げを図りましょう。	

More For You
もっと、由・暮らし・笑顔のために



武蔵野銀行



〇〇株式会社 SDGs 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

2021年〇月〇日

〇〇株式会社

代表取締役〇〇

SDGsの達成に向けた取組み

人権・労働



人権を守る体制づくりや、企業の成長にもつながる良好な労働環境の整備に努めます。

環境



人間が暮らしを営む自然環境に対して、自社が与える負荷の軽減及び好影響の付与につながる取組を提示しています

公正な事業慣行



企業が事業を継続していく上で、社会から強く要請され事項の強化に努めます。

製品・サービス



地域や社会が抱える課題の解決に努める、又は経済と環境両方に好影響を与える、又は消費者に新しい選択肢を提供する製品やサービスを、社会に普及させる取組に努めます。

社会貢献・地域貢献



地域経済活性化への取組みや、社会貢献活動の実績を通じて、地域社会に貢献し続ける企業を目指してまいります。

組織体制



社員一人ひとりの個性を尊重するとともに、人材育成・健康経営への積極的な取組を通じて、活力ある会社づくりを実践してまいります。



SDGsとは

「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」の略称であり、2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17のゴール・169のターゲットから構成された国際目標です。
目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。



CO2排出量測定ツール「C-checker」

CO2排出量測定ツール  C-checker

CO2の可視化で脱炭素社会を実現する

C-checkerはお客様の事業活動から排出されるCO2（二酸化炭素）の可視化、分析をするためのツールです。

無料



《「C-checker」について》

主 な 特 長	✓ CO2排出量の可視化と分析 CO2の排出につながる活動量（電気、ガソリン、ガス等の使用量）を入力すると、ダッシュボード（トップページ）にグラフで表示。前年度との排出量の比較や事業所ごとの傾向を一目で把握することができます。また、登録したデータをCSV形式で出力し、活用することも可能です。 ✓ 事業所ごとのCO2排出量、排出源の分析が可能 事業所ごとに排出量を分析することが可能なため、CO2削減に向けた設備投資等の計画立案・実行をよりスムーズに行うことができます。 ✓ 初期費用、ランニング費用ともに無料 法人のお客様であれば、無料で利用可能なツールです。費用のご負担なくご利用いただけます。
ご利用方法	以下のURLより無料でご利用いただけます。 https://cchecker.musashinobank.co.jp/ghg/user/registreq



当行のサステナブル経営の取組みについて

埼玉県の持続可能な地域経済・社会の実現に貢献するための当行の取組みについてご紹介します。

気候変動への取組み ～環境負荷の低減～

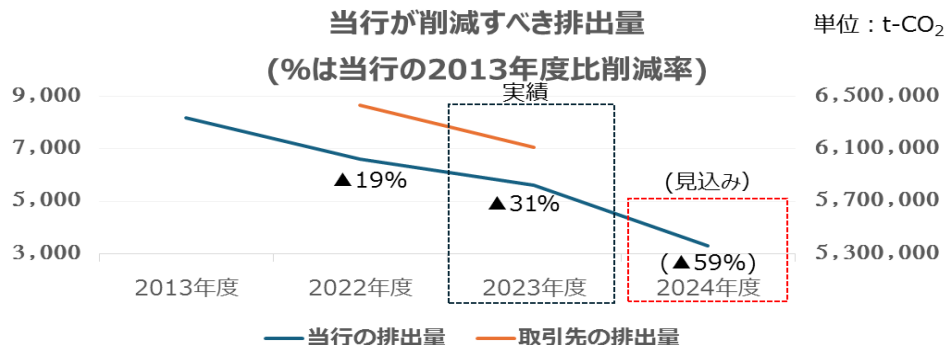
2030年度までの当行のCO₂排出量削減目標70%
(2013年度比)

節電努力や省エネ施策により
約60%削減まで進捗

更なる意識向上を！

	省エネ化	節電	EV車導入	再エネ導入
削減施策	空調切替 51か店 LED切替 30か店 2029年までに 全店実施予定	節電努力 (19時退行ヤン ペーンなど)により 着実に削減 更なる取組み 強化を！	2023年11月に 本店・志木・戸 田西の3か店に EV車導入。 今後も随時導入	5月から本店と 事務センターの 電力を再エネに 切替え。

当行は地域銀行としてお取引先のCO₂排出量削減も
開示しています。提案の一層の強化を！



Copyright, Musashino Bank Ltd.

生物多様性への取組み～豊かな自然資源を守る～

埼玉県の自然との共生・生物多様性の保全は責務。

(埼玉の自然は、当行にとっての資本)

県内の地公体や取引先企業への働きかけや、生物多様性に
関する課題解決に向けた支援は当行の重要な役割。

(公財)埼玉県生態系保護協会と生物多様性保全に関する包括連携協
定を5月に締結。(目的は埼玉県全域への浸透！全国初の取り組み！)
お客さまへの提案にあたっては気軽に照会先まで！！

具体的な連携施策

- 県内地公体への生態系保護事業の
計画・策定支援
⇒策定していない自治体多数！
- 取引先企業へのSDGs事業策定
支援と具体策提供
⇒ SDGsの取組みに入れる提案を！
- 公益信託武蔵野銀行みどりの
基金贈呈先への助言・PR促進
⇒当行は30年以上実施中！
- 学校・地域への環境教育プログラムの
実施
⇒地域への浸透を図ろう！
- 当行の自然環境リテラシーの向上
⇒積極的に取組みに参画しよう！



協会との連携について



<長堀頭取と県生態系保護協会の池谷会長>

照会先：総合企画部サステナビリティ推進室 荒巻 卓・大河原 正行・笠井 勇哉



公益財団法人埼玉県生態系保護協会様と武蔵野銀行との歴史

	取組み	埼玉県生態系保護協会様
1992年	➤ 「公益信託むさしの緑の基金」設定 (現公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」)	◆ 立ち上げ時の運営にご協力
1992年	➤ 「自然環境保護口座」創設	◆ 寄付金の受入先として連携
2008年	➤ 行員向け環境教育 「ぶぎん環境カレッジ」の開講	◆ 専門知識を有する講師派遣
2011年	➤ 新入行員向け環境教育の開始	◆ インストラクター派遣をはじめ 運営全般を委託
2012年	➤ 新事務センター「JHEP」認証取得へのご協力	◆ 新事務センターは銀行業界 初取得、新本店ビルは銀行 本店として「JHEP」初取得に 向けたサポート
2021年	➤ 新本店ビル「JHEP」認証取得へのご協力	



主な取り組み～ぶぎん環境カレッジ～

埼玉県生態系保護協会様の協力を得て実施
(2008年スタート)

2013年
北本自然観察公園
自然学習指導員による
夏の湿地の解説



2023年
座学の風景



2015年
秋葉の森総合公園
自然保護ゾーンを視察





主な取り組み～新入行員向け研修～

埼玉県生態系保護協会様の協力を得て実施（2011年より継続的に実施）

2024年
三ツ又沼ビオトープ
荒川の稀少な野草を植栽



2012年
三ツ又沼ビオトープ
湿地のクワノキを除伐

